

中海・宍道湖・大山圏域

魅力

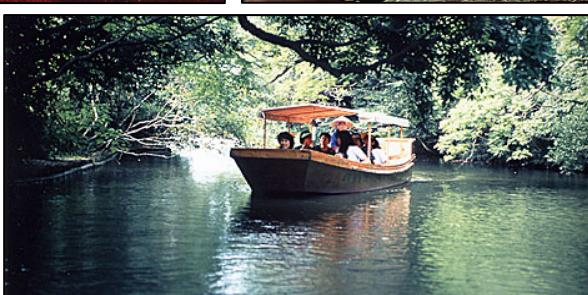
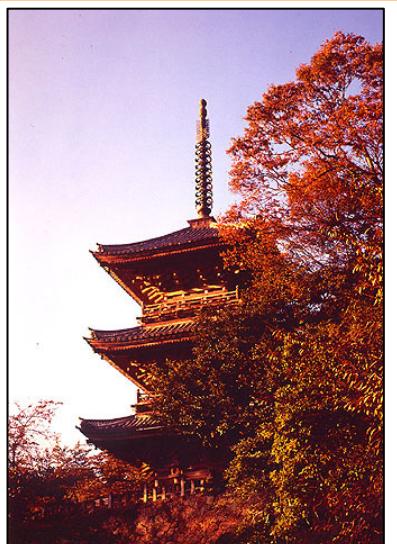
自然
歴史・文化
温泉・リゾート
体験・イベント
まちめぐり・まち景観

「神々のふるさと山陰」と「縁結び」をテーマに、県境を越え多彩な魅力を活かした広域観光ルートの構築により滞在型観光地へ



圏域の多彩な魅力を共同で発信することで、中海・宍道湖・大山圏域の広域観光を展開。協議会又はNPOが縁結びをテーマにした出雲路観光やイベント、旅のモデルプランを提案。

夜間イベントにあわせた堀川遊覧船運航などの宿泊を誘発する企画等により、圏域の中核である松江市の宿泊客数は160万人以上を確保。



上段左から 大山、清水寺、出雲大社／下段左から 松江城、松江堀川遊覧船

入込客数

鳥取県観光客入込動態調査結果
島根県観光動態調査結果

平成14年(2002) 2,071万人
平成15年(2003) 2,088万人
平成16年(2004) 2,082万人
平成17年(2005) 2,177万人
平成18年(2006) 2,212万人

宿泊客数

島根県観光動態調査結果

平成14年(2002) 189万人(93万人)
平成15年(2003) 214万人(167万人)
平成16年(2004) 211万人(165万人)
平成17年(2005) 234万人(186万人)
平成18年(2006) 235万人(186万人)

*鳥取県米子・皆生温泉周辺、境港周辺、大山周辺
島根県松江市、出雲市、安来市、東出雲町、斐川町の合計
()内は、松江市の宿泊客数 但し、平成14年は合併前の値

鳥取県米子市、境港市、大山町、伯耆町
島根県松江市、出雲市、安来市、東出雲町、斐川町

23

取組

PR・誘致活動
案内・情報提供
景観保全・環境整備
人材育成
体験・イベント開催
広域連携の促進

ユニークなアイディアでまちづくり 鬼太郎に会えるまち、山陰境港

境港市では、平成4年より「緑と文化のまちづくり」の一環として、「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、地元出身の漫画家水木しげる氏の作品に登場する妖怪たちのブロンズ像を歩道に設置し、「水木しげるロード」として整備。マスコミ等で多く取り上げられ、平成19年8月には年間入り込み客数100万人を突破。人気の観光スポットになった。



協力／©水木プロダクション
妖怪人気投票で上位の鬼太郎のブロンズ像

広域観光に携わる事業者によるNPO設立



大山 ぶなの森ウォーク

中海・大山圏域には、国立公園「大山・隠岐」やラムサール条約登録湿地「中海・宍道湖」をはじめ全国有数の風光明媚な自然に恵まれており、これらを観光素材とした周遊滞在型観光地の形成が図られてきた。平成17年、それまでホームページ、ガイドブックの発行などによる情報発信や体験観光を企画していた民間事業者が中心となってNPO法人「大山中海観光推進機構」を設立。広域連携推進や観光コンテンツの開発、情報発信をしていくことにより、地域の観光産業の活性化、交流人口の増加を図っている。

健康保養とエコツーリズムの観光地づくり



シーカヤック体験プログラム

全国温泉観光地で宿泊客数の減少する中、皆生(かいけ)温泉旅館組合では、いち早く観光戦略に立ち上がった。平成18年より幾度も会合を重ね、健康保養とエコツーリズムをキーワードにした体験型の観光地を目指し、健康保養をテーマにメニューの開発や長期滞在型ツアーや開発を進めている。

平成19年から旅館の若手経営者自ら講習を受けてシーカヤックの体験プログラムをスタートさせた。

滞在者への配慮

松江市は、平成7年より観光地を周遊するバス「ぐるっと松江レイクライン」を1日最大29便運行。堀川遊覧船乗場や松江城・県立美術館をはじめとする観光施設をめぐることができる。



周遊バス

5年連続世界No.1の日本庭園と 世界一の規模のコレクションで国内外を魅了

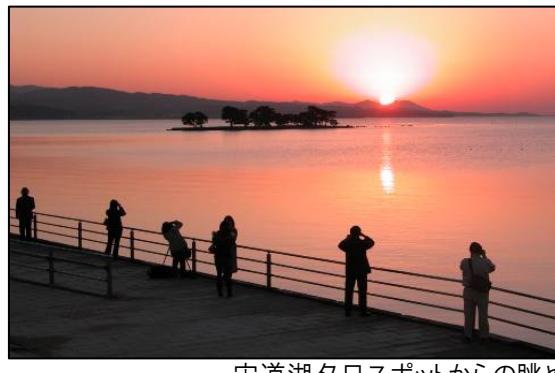
足立美術館の横山大観のコレクションは世界一の規模を誇る。年4回の展示替えで、季節ごとに庭と作品との調和を図り、飽きさせない工夫が随所に施されている。また庭園は、米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」の日本庭園ランキングで、桂離宮を抑え、5年連続第1位に輝き名実ともに世界一の日本庭園として高く評価されている。初めて第1位に輝いた平成15年度の海外入り込み客数約1,700人に対し、平成16年度には約4,600人と約2.7倍となった。年間入り込み客数は平成13年度の約35万人から平成18年度には約46万人となり約31%増となっている。また、全国で初めて美術館としてV案内所が設置された。

※「V案内所」:ビジットジャパン案内所(訪日外国人旅行者対応観光案内所)



5年連続ランキング1位に輝く足立美術館の日本庭園

宍道湖の夕日を望む「水の都」



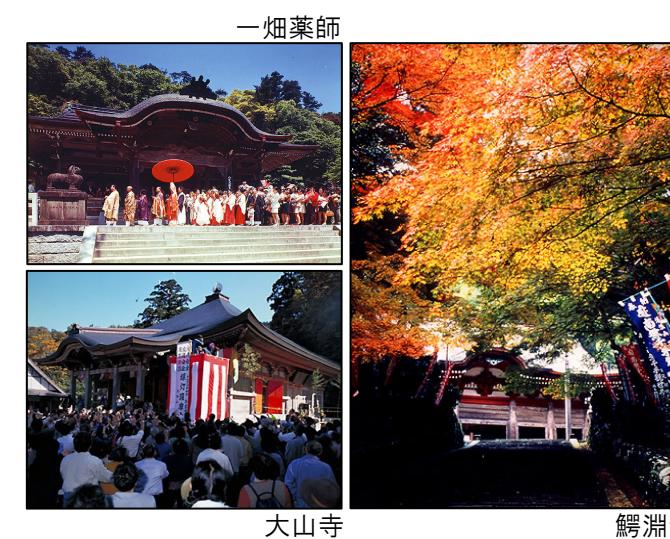
宍道湖夕日スポットからの眺め

宍道湖のほとりから望む夕日は、松江を訪れる多くの観光客を魅了する。夕日がひときわ美しい一角には観光客や撮影者が集中する。新たな観光スポットとして、「宍道湖夕日スポット」が、市民参加のワーキングを重ねた上で、平成19年3月に完成。平成19年9月～10月には、日本風景街道の取り組みの一環として、美しい景観の中でお茶を楽しむ「レーク街道カフェ」プロジェクトが実施された。

出雲國神仏靈場

ご縁をつなぐ神仏の通い路中海・宍道湖をめぐる8の字ルート

中海・宍道湖・大山圏域は、出雲国風土記に記載されている歴史ある社寺や地名の残る地域である。「出雲國神仏靈場」として、鳥取・島根両県の20の神社仏閣が連携し、それに沿って中海、宍道湖を囲む出雲地方を8の字を描いて回るルートを、県境を越えた『人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通い路～』として構築した。また、日本風景街道のパートナーシップの役割を担うことを目的に、NPO、各種活動団体と道路管理者・自治体が「レーク街道推進会議」を組織した。現在、同推進会議は、中海・宍道湖・日本海の水辺の自然・景観と大山、島根半島など神話の舞台となった景観を活かす道づくりを目指し、歴史・自然・景観を神話と関連づけ物語性のあるコースづくりを行っている。



県境を越えた連携で広域観光ニーズへの対応

中海・宍道湖・大山圏域の6商工会議所を中心に圏域の自治体・団体等により「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進会議」を平成17年に設立。中海遊覧船の実験運行、ホームページの運営、贈答品へのPRしおり同封等により圏域の認知度拡大と観光振興を図っている。同ホームページは、民間運営ならではの親しみやすさにより、トップページへのアクセス件数が1日平均600件ある。今後、着地型旅行商品の造成・販売など各種プロジェクト推進に伴い、圏域のさらなる一体感を目指している。

「縁結び」テーマに広域連携

「神話の国 縁結び観光協会」は、平成17年、官民71団体で設立。「出雲路講座」や「縁結び大賞」などのイベント企画・開催、縁結びスポットの紹介などの他、都会地でのプロモーションを行い集客力を高めている。

また、「神話の国 縁結び観光協会」が協賛し、県内の主要公共交通 6事業者が、平成19年4月より中海・宍道湖圏域の主要バスと電車が3日間乗り放題で、松江城など33施設の割引特典もついた「縁結びパーカーフェクトチケット」を3,000円で発売した。これは、これまであった一畠電車と路線バス(松江-出雲両市内)、出雲、米子両空港を結ぶ連絡バス、レイクラインバス(松江市内)の3つの周遊券を一本化して一枚の切符で幅広い周遊が可能となったもので好評を博している。このような利便性のアップの取り組みが、県境を越えた観光客の新たな呼び水にと期待されている。



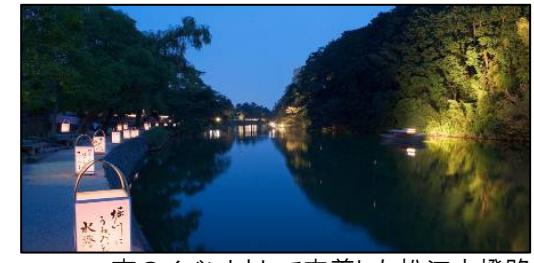
縁結びスポット カラコロ大黒



絵馬をモチーフにしたデザイン
縁結びパーカーフェクトチケット

夜間イベントの定着化で宿泊を誘う

松江市観光開発公社の運営する松江堀川遊覧船事業は、平成9年より開始。運航3年目で年間乗船者が30万人を超える観光スポットとして定着。平成15年からのライトアップイベント「松江水燈路」にあわせ夜間運航を行つており人気を博している。



夜のイベントとして定着した松江水燈路

中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会	TEL:0852-32-0504	URL: http://furusato.sanin.jp/
神話の国 縁結び観光協会	TEL:0852-55-5630	URL: http://www.kamiari.com/

NPO法人大山中海観光推進機構	TEL:0859-68-3091	レーク街道推進会議	TEL:0852-32-0503
皆生温泉旅館組合	TEL:0859-34-2888	一畠電車株式会社	TEL:0853-62-3383
境港市観光協会	TEL:0859-47-3880	松江市観光振興部観光文化振興課	TEL:0852-55-5214
松江市交通局	TEL:0852-60-1111	堀川遊覧船管理事務所(松江市観光開発公社)	TEL:0852-27-0417
足立美術館	TEL:0854-28-7111		
松江国道事務所	TEL:0852-26-2131		